

令和5年度 事業報告

公益財団法人 東洋医学研究財団

専務理事 浅井 清文

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に位置づけられたこともあり、令和5年度においては、市民や研究者の皆様に対面でご参加いただく会合の開催が可能となりました。そのような状況をうけ、当財団は、東洋医学の啓発及び普及という公益目標を追求するため、本年度も関係各位のご支援をいただきながら以下の事業を行いました。

令和4年度事業報告書

6月5日に公益財団法人としての年次事業報告書を愛知県知事に提出しました。

研究・調査助成審査選考会

東洋医学の発展に資する研究課題を4～5月にわたり公募しました。14課題の応募があり、6月24日に研究・調査助成審査選考会を開催し5課題を採択しました。

東洋医学に関する学術研究報告会

令和5年度第35回学術研究報告会を、6月24日名古屋市立大学薬学部講義室に於いて開催いたしました。研究者6名の成果発表と多くの質疑が行われ、活発な報告会となりました。関係各位のご協力に感謝します。

研究・助成金贈呈式

7月13日、名古屋市立大学新厚生会館において執り行い、5課題330万円の助成を行いました。

市民公開講演会

野尻 俊輔氏（名古屋市立大学大学院医学研究科教授）と有馬 菜千枝氏（名古屋市立大学病院耳鼻咽喉科助教）をお招きし、10月14日に名古屋市立大学薬学部田辺通キャンパス大講義室に於いて開催しました。多くの市民の皆様の参加を得て活発な講演会となりました。

令和6年度の事業計画と予算書

令和6年1月18日に令和6年度の事業計画と予算書を愛知県に電子報告しました。